

報道関係各位

三井不動産リアルティ株式会社

「三井のリハウス」ホームページにて展開中の特設サイト 『みんなの声鉛筆』が TCC 賞を受賞 ～「ファミリー編」「定年編」「同居 or 近居編」「母と住む編」がシリーズ受賞～

三井不動産リアルティ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:竹井英久)は、既存住宅流通事業「三井のリハウス」のホームページ内にて展開中の特設サイト「みんなの声鉛筆」(<http://www.rehouse.co.jp/voice/>)が、その年の最も優れた広告やコピーに贈られる「2013 年度 TCC 賞(主催:東京コピーライターズクラブ)」を受賞したことをお知らせいたします。

TCC 賞は、東京コピーライターズクラブが主催する、コピーやキャッチフレーズの視点から優秀作を選ぶ日本を代表する広告賞の一つで、2013 年度は「一般部門」6,134 点(グラフィック 3,910 点、テレビ CM/Web 映像 1,701 点、ラジオ CM 401 点、Web 広告 122 点)の中から TCC グランプリ(1 点)と TCC 賞(9 点)が選ばれ、4 月 30 日に発表されました。

*「TCC 賞」の詳細については、東京コピーライターズクラブのウェブサイトをご参照ください。(<http://www.tcc.gr.jp/>)

今回 TCC 賞を受賞した「みんなの声鉛筆」は、お客様の世代や取り巻く環境に応じて内在する住まい・不動産に関わる様々な悩みを、動画やイラストで親しみやすく、わかりやすく表現した Web サイトのムービーCMシリーズで、劇場用 CM や交通広告 CM としても展開したものです。全 21 テーマのうち、「ファミリー・希望がある、それぞれに編」「定年 セカンドライフ、どうする?編」「同居 or 近居編」「母と住む編」の動画 4 編を「2013 年度 TCC 賞」に出品し、全作品がシリーズ受賞いたしました。中でも、キャッチフレーズやナレーションの中の輝いている言葉を見つけ出そうという審査方針において、「ファミリー・希望がある、それぞれに編」と「定年 セカンドライフ、どうする?編」のメインコピーが特に高い評価を得ました。

■『みんなの声鉛筆』TCC 賞受賞概要

◇受賞作品: 「ファミリー・希望がある、それぞれに編」、
「定年 セカンドライフ、どうする?編」、
「同居 or 近居編」、「母と住む編」の 4 作品

◇受賞者名: 黒田康嗣(博報堂 九州支社)

◇特に高い評価を受けたメインコピー:

ファミリー編: 「子供が大きくなっていくと、それに合わせてマンションの部屋も大きくなったり、部屋も増えたりするようになっていくといいな。」

「ああ。学校の場所とか通勤に合わせて こう、家も移動できるといいんだよね。」

定年編: 「もう、通勤もないし、どこに住んでも自由ですよ、ついでいわれても、逆にいろいろ考えることが。」

「子供のころから苦手だったんだよ『さあ、今日は自由にお絵かきをしましょう』とか言われるのがなあ。」

◇「みんなの声鉛筆」URL: <http://www.rehouse.co.jp/voice/>



本件に関するお問い合わせ先
三井不動産リアルティ株式会社 企画部秘書広報グループ
薄木・新井 TEL03(6758)4062